

# 第94期 事業のご報告

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで



**エスビー食品株式会社**

株主の皆様にはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり、誠にありがとうございます。たく厚く御礼申し上げます。

ここに当社第94期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の事業の概況と決算のご報告を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に民間設備投資も増加し、緩やかな回復を続けてきました。

食品業界におきましては、企業部門の好調さが家計部門へ波及するまでにはいまだ時間を要し、個人消費の回復には力強さが感じられないなかで、原材料価格の上昇によるコスト増の影響も受けました。

このような状況のなかで、当社グループは、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、グループ一丸となってお客様の視点に立った事業活動を推進してまいりました。「お客様の声」を製品の研究開発や改良・改善に活かしますとともに、「安全・安心」な製品をお届けいたしますため、原材料から製品に至るまでの生産履歴に関する情報管理システムをより充実させるなど、引き続き品質管理・安全対策の強化に努めてまいりました。また、販売面におきましては、お客様の視点での売場提案やメニュー提案を行い、きめ細かな営業活動を展開してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比13億78百万円増の1,157億54百万円（前期比101.2%）、営業利益は前期比5百万円減の43億93百万円（前期比99.9%）、経常利益は前期比1億18百万円増の40億54百万円（前期比103.0%）、当期純利益は前期比1億58百万円増の23億6百万円（前期比107.4%）となりました。

なお、当連結会計年度における設備投資は、上田、東松山および宮城の3工場における、品質の安定向上、合理化・省力化を目的とした生産設備の更新・改良などを中心として、総額19億74百万円の投資を行いました。

また、当連結会計年度中に、増資あるいは社債発行による資金調達は行っておりません。

今後の見通しにつきましては、引き続き好調な企業収益を背景に、景気は底堅く推移するものと見込まれますが、原油価格の動向や米国をはじめとする海外経済の先行きには懸念材料もあります。

食品業界におきましては、雇用情勢の改善による個人消費の持ち直しが期待されますものの、原材料価格の上昇などのコスト増の影響が続くものと思われます。

当社グループといたしましては、このような情勢のもと、次の施策に取り組んでまいりたいと考えております。

企業理念として掲げました「真の顧客満足の追求」とは、お客様にとっての価値を知り、それに応え続けることであります。そこで、お客様より寄せられます「お客様の声」を企業の財産とし、より耳を傾け、製品やサービスに反映させるなど、あらゆる面でお客様の視点に立った活動をさらに推進してまいります。

製品の「安全・安心」対策では、引き続き品質管理の徹底を行いますとともに生産履歴に関する情報管理のシステム化をさらに進めていくなかで、検査体制の一層の充実にも努めてまいります。

「SPICE & HERB」というコーポレートシンボルのもと、スパイスやハーブの素晴らしさを提供するため、お客様をはじめ多くの方々へ広くスパイスやハーブに関する情報発信を行ってまいります。また、こうした活動を通じて、日本の食生活・食文化に貢献できればと考えております。

経営管理面におきましては、執行役員制度を活用し、取締役と執行役員の役割を明確にし、経営全般のスピードアップとコーポレート・ガバナンスの強化を図り、もって経営環境の変化に迅速かつ的確に対応いたしますとともに、取締役会のもと、内部監査室を中心として内部統制システムの充実・強化に取り組んでまいります。

企業の社会的責任に関しましては、皆様の食生活

を担う食品企業として、当社グループならではの優れた品質で、かつ安全で安心いただける製品の提供に努め、さらに皆様のご信頼とご支持を得て、社会とともに持続可能な企業であり続けられますよう、法令順守は勿論のこと企業倫理、社会貢献活動などへの取組みに最善の努力をいたしたいと考えております。

特に、自然の恵みによって得られるスパイスとハーブをお客様にお届けする当社グループといたしましては、地球環境保全を重要課題の一つと認識し、「環境方針」を策定し、環境に配慮した生産体制の整備や製品の開発・改良をはじめ企業活動全般から生じる環境への負荷の低減に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

平成19年6月



代表取締役社長

江戸龍太郎

●スパイス&ハーブ関連部門

<香辛料>

昨年3月に発売いたしました、品揃え・価格・デザイン・機能性などお客様の多様なニーズにお応えした洋風スパイスの主力製品「SPICE & HERB」シリーズが高い評価をいただき、高品質タイプの「FAUCHON」、新しい価値を提案した「有機スパイス」、そして使いやすい小容量タイプの「スマートスパイス」とともに製品ラインナップが一層充実し、洋風スパイスの売上が伸びましたことから、売上高は前期比3億90百万円増の149億32百万円となりました。



<即席>

カレー、シチュー、ハヤシの主力製品の「とろける」ブランドシリーズが引き続きお客様の幅広いご支持をいただき順調に推移し、また新製品の「隠れ家レストランの贅沢なシチューきのこクリーム」や地中海料理の代表的な素材を使用した「地中海トマトのハヤシライスソース」と「地中海ワインのハッシュドビーフ」が売上に貢献いたしましたことから、売上高は前期比2億4百万円増の327億14百万円となりました。



<香辛調味料>

価値ある製品として引き続き高い評価をいただいております「本生」シリーズなどのチューブ製品におきまして、開閉のしやすさとともに最後まで中身が絞りやすいよう、お客様視点でキャップとチューブに改良を加えました。また、新しい食シーンを提案した「柚子こしょう」や新製品の「柚子わさび」のほか、お徳用タイプも順調に市場導入を図ることができました。この結果、チューブ製品全体がシェアを伸ばすとともに好調に推移し、また、中華調味料の李錦記ブランド製品も売上に寄与いたしましたことにより、売上高は前期比8億77百万円増の256億18百万円となりました。



<インスタント食品その他>

レトルトカレーにおきましては、明治、大正、昭和のそれぞれの時代の味を再現するというコンセプトの「タイムトリップカレー」3品を新発売するなど製品施策に努めました。パスタソースでは、「生風味」シリーズとともに「予約でいっぱいのお店」シリーズが順調に売上を伸ばしました。また、フレッシュハーブ製品も着実に市場に浸透し、お客様のご評価をいただくことができました。この結果、売上高は前期比2億16百万円増の252億83百万円となりました。



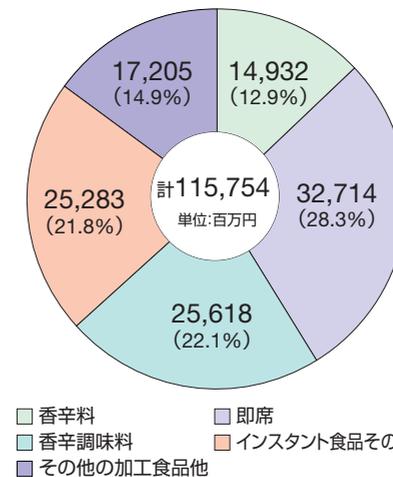
以上、スパイス&ハーブ関連部門の売上高は、前期比16億88百万円増の985億48百万円（前期比101.7%）となりました。

●その他の加工食品部門他

無菌包装米飯におきましては、セット米飯が「ピアット一度は食べたいあの店の」シリーズの寄与もあり、堅調に推移いたしました。調理済食品が前期実績を下回りましたことから、その他の加工食品部門他の売上高は、前期比3億9百万円減の172億5百万円（前期比98.2%）となりました。



連結売上高構成比



## ハーブ専門ショップ「サンズコート (SUN'S COURT)」

東京・代官山にある「サンズコート (SUN'S COURT)」は、ハーブ専門ショップとして1995年の開店から10年以上にわたりハーブに関する情報を発信してきましたが、昨年秋に全面リニューアルを行い、新しいショップとして生まれ変わりました。

“ハーブを軸としたデザイン性のあるおいしい生活提案”というコンセプトのもと、今人気のハーブとデザイン性に優れた雑貨を融合させることで、もっと楽しく、心地よく、快適な暮らしを提案しています。店内では、キッチン・ダイニング雑貨をはじめとする様々な製品を、ハーブ関連製品とともに販売しています。

また、ハーブやスパイス、アロマセラピーが学べる「ハーバルカレッジサンズコート」も大幅にリニューアルし、よりゆったりとレッスンを受けていただけるようにしました。カリキュラムも充実させて、ハーブティーやアロマセラピーに留まらない、ハーブやスパイスの魅力を存分に楽しみ味わえるものを用意しました。

姉妹店として一昨年10月にオープンした、「サンズコート (SUN'S COURT) ecute品川店」ともども、これからもハーブのある快適なライフスタイルを提案していきます。



店舗概要  
所在地：東京都渋谷区猿樂町29-10  
ヒルサイドテラスC棟  
TEL：03-5458-5950  
営業時間：11:00～19:30 (定休日なし)  
URL：  
<http://www.sbfoods.co.jp/sunsc/>



### 【ホームページのご案内】

<http://www.sbfoods.co.jp/>

当社製品の情報や各種料理レシピも充実。SPICE & HERBの夢が広がる当社ホームページをどうぞご利用ください。

また、携帯サイト [<http://mo-on.com/sbfoods/>] もありますので、こちらもご利用ください。



## フレッシュハーブ事業の新しい展開

ハーブを生のまま販売するフレッシュハーブを当社が発売したのは1987年であり、今年で満20年を迎えました。現在では、全国にある約120軒の契約栽培農家の協力を得て、約30の品目を取扱い、第94期の売上高は20億円に近づきました。

こうしたなか、フレッシュハーブの集荷から出荷までを一貫して行う作業センターである「エスピーハーブセンターつくば」が一昨年に稼動しましたが、拠点拡大のため、JAおきなわが運営する「JAおきなわエスピーハーブセンター」に出資・協力をを行い、本年4月に稼動を開始しました。



「JAおきなわエスピーハーブセンター」では、近隣の契約栽培農家で育てられた生のハーブを集荷し、さらに選別・管理・パック・出荷までを行うとともに、トレーサビリティを含む集中的な管理により、品質の規格化・向上および安全性の向上を図ります。

食品の安全性など品質に対する意識の高まりが進むなか、加工の集中化や高度な栽培・加工管理で、安全・安心に対する取組みを具現化することで、市場をリードしてきた当社のフレッシュハーブ事業の一層の展開を図ります。

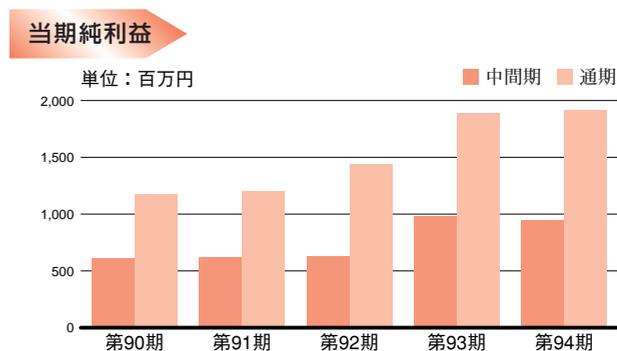
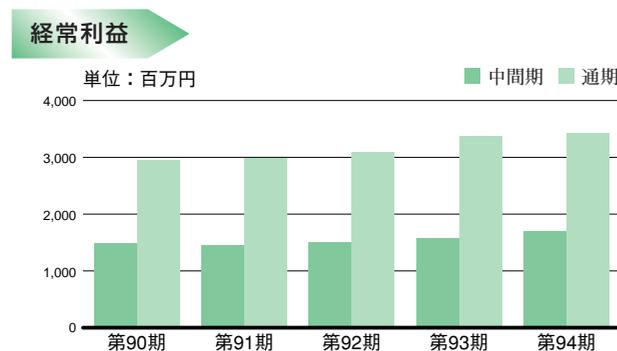
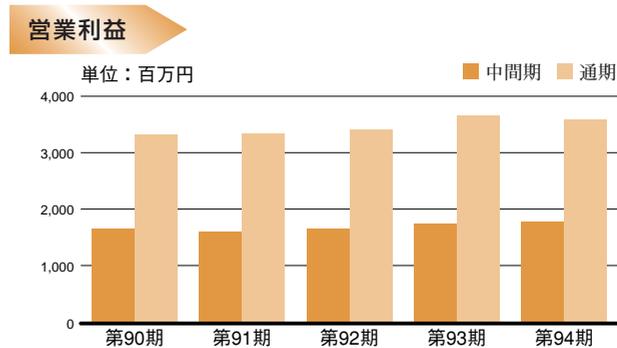
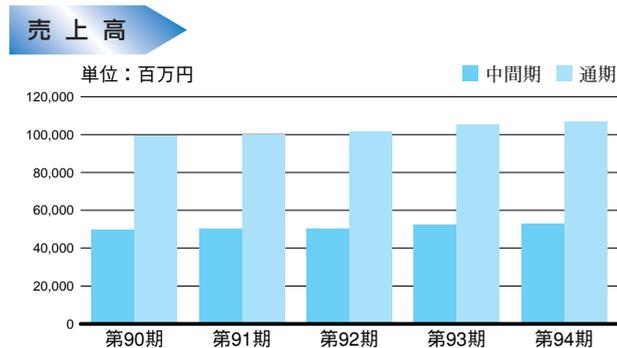


## 製品ピックアップ ～即席カレー＆ハヤシ～

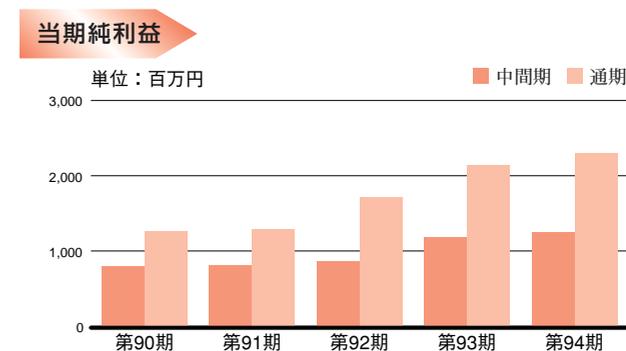
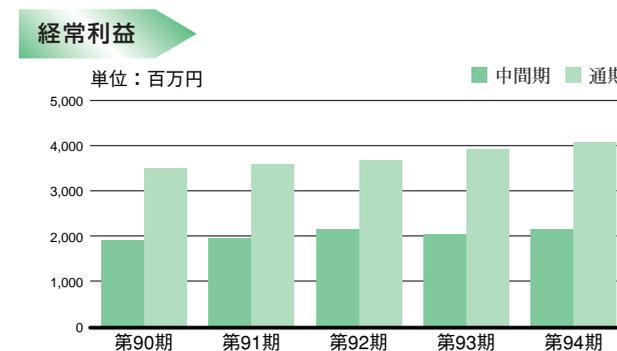
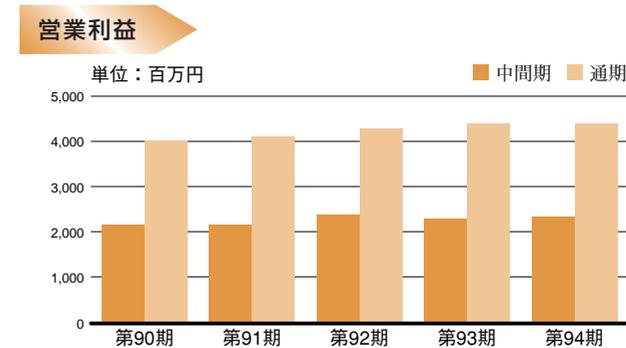
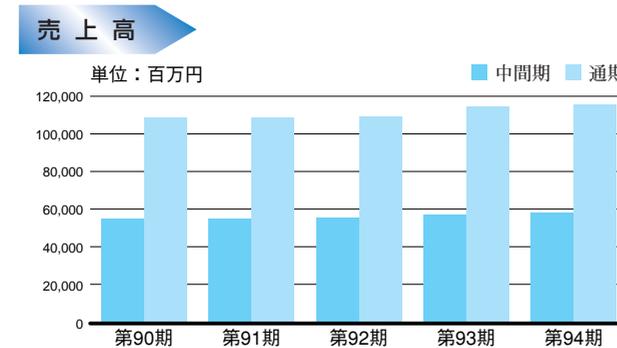
この春に新発売した「地中海トマトのハヤシライスソース」と「地中海ワインのハッシュドビーフ」は、大人からお子様まで楽しめる製品として、ご好評をいただいています。トマトやワインといった地中海料理を代表する素材を使用し、“地中海のおいしさ”を表現したこれらの製品がハヤシライスソース市場の拡大を図ります。

また、この度、40余年の歴史を刻んできた「ゴールデンカレー」をリニューアルしました。この製品本来のコンセプトであるスパイス感や香り立ちに一層磨きをかけ、さらに、デザインも高級・高品質感を強くアピールするものになりました。カレーの最需期である夏に向けて、市場の活性化を目指します。





区分	第90期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	第91期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第92期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	第93期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	第94期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高 (百万円)	99,389	99,878	101,558	105,353	106,954
営業利益 (百万円)	3,318	3,341	3,405	3,667	3,588
経常利益 (百万円)	2,954	2,995	3,088	3,381	3,422
当期純利益 (百万円)	1,173	1,206	1,444	1,895	1,921
1株当たり当期純利益 (円)	31.93	32.78	39.62	52.57	55.16
純資産 (百万円)	16,974	19,622	20,902	22,674	22,648
総資産 (百万円)	72,995	73,056	75,518	82,572	78,876



区分	第90期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	第91期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第92期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	第93期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	第94期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)
売上高 (百万円)	108,792	108,984	110,470	114,375	115,754
営業利益 (百万円)	4,026	4,095	4,292	4,398	4,393
経常利益 (百万円)	3,505	3,658	3,827	3,935	4,054
当期純利益 (百万円)	1,270	1,307	1,722	2,147	2,306
1株当たり当期純利益 (円)	34.16	34.76	38.97	59.76	66.20
純資産 (百万円)	17,630	20,347	21,695	23,692	24,077
総資産 (百万円)	89,370	87,955	90,016	96,736	96,059

## ■貸借対照表

科 目	(単位:百万円)		科 目	(単位:百万円)	
	当事業年度 (平成19年3月31日現在)	前事業年度 (平成18年3月31日現在)		当事業年度 (平成19年3月31日現在)	前事業年度 (平成18年3月31日現在)
<b>[資産の部]</b>			<b>[負債の部]</b>		
流動資産	44,050	43,780	流動負債	36,233	40,970
現金及び預金	12,541	12,130	支払手形	4,567	4,663
受取手形	5,222	5,348	短期借入金	8,845	9,483
売掛金	17,425	15,781	長期借入金	8,405	6,580
製品及び商品	3,434	3,830	一年以内に返済する長期借入金	2,416	2,485
原材料	2,193	1,954	一年以内に償還する社債	-	6,000
仕掛品	981	954	未払法人税等	8,122	8,179
貯蔵品	150	148	未払法人税	368	299
前払費用	266	233	預り金	1,166	122
繰延税金資産	1,180	1,314	受取当座金	101	44
短期貸付金	900	2,760	前受引当金	19	16
現金信託	500	500	設備関係支払手形	958	932
その他の貸倒引当金	△846	△1,338	経費関係支払手形	331	1,103
固定資産	34,825	38,792	固定負債	921	1,059
有形固定資産	19,314	20,037	社債	19,993	18,927
建物	6,156	6,673	長期借入金	4,000	4,000
構築物	342	367	繰延税金負債	8,032	7,549
機械及び装置	3,709	3,877	繰延税金負債	-	761
車両及び運搬具	16	26	再評価に係る繰延税金負債	1,590	1,598
工具器具及び備品	801	745	退職給付引当金	5,141	4,800
土地	8,179	8,264	役員退職慰労引当金	1,107	-
建設仮勘定	109	82	債務保証損失引当金	89	184
無形固定資産	1,008	1,237	長期債務保証損失引当金	32	32
借地権	41	41	負債合計	56,227	59,898
商標権	4	5	資本の部		
ソフトウェア	885	1,109	資本	-	1,744
電話加入権	50	50	資本剰余金	-	5,343
その他	25	29	資本準備金	-	5,343
投資その他の資産	14,502	17,516	自己株式	-	0
投資有価証券	9,619	12,276	利益剰余金	-	15,226
関係会社株式	898	898	利益準備金	-	436
出資	513	452	任意積立金	-	-
関係会社出資金	205	205	退職給付積立金	-	1,033
従業員長期貸付金	1	-	厚生施設積立金	-	700
関係会社長期貸付金	1,800	3,170	固定資産圧縮積立金	-	206
更生債権	0	0	別途積立金	-	10,668
長期前払費用	31	14	当期未処分利益	-	2,182
繰延税金資産	733	-	土地再評価差額金	-	△3,965
退職給与引当保険掛金	45	53	その他有価証券評価差額金	-	4,354
長期保険掛金	295	279	自己株式	-	△28
差入保証金	365	365	資本合計	-	22,674
敷	192	181	負債資本合計	-	82,572
貸倒引当金	△199	△380	純資産の部		
資産合計	78,876	82,572	株主資本	23,801	-
			資本	1,744	-
			資本剰余金	5,343	-
			資本準備金	5,343	-
			自己株式	0	-
			利益剰余金	16,746	-
			利益準備金	436	-
			その他利益剰余金	700	-
			厚生施設積立金	189	-
			固定資産圧縮積立金	12,118	-
			別途積立金	3,303	-
			繰越利益剰余金	△32	-
			自己株式	△1,152	-
			評価・換算差額等	2,823	-
			土地再評価差額金	△3,976	-
			純資産合計	22,648	-
			負債純資産合計	78,876	-

## ■損益計算書

科 目	(単位:百万円)		科 目	(単位:百万円)	
	当事業年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前事業年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)		当事業年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前事業年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	106,954	105,353	売上高	106,954	105,353
売上原価	57,253	55,363	売上原価	57,253	55,363
期首製品及び商品たな卸高	3,830	3,255	期首製品及び商品たな卸高	3,830	3,255
当期製品製造原価	28,095	27,256	当期製品製造原価	28,095	27,256
当期商品仕入高	28,761	28,682	当期商品仕入高	28,761	28,682
期末製品及び商品たな卸高	3,434	3,830	期末製品及び商品たな卸高	3,434	3,830
売上総利益	49,701	49,989	売上総利益	49,701	49,989
販売費及び一般管理費	46,112	46,321	販売費及び一般管理費	46,112	46,321
販売促進費	28,612	28,439	販売促進費	28,612	28,439
荷造運搬費	2,195	2,121	荷造運搬費	2,195	2,121
広告宣伝費	3,703	4,190	広告宣伝費	3,703	4,190
貸倒引当金繰入額	-	4	貸倒引当金繰入額	-	4
給料手当	3,688	3,701	給料手当	3,688	3,701
賞与引当金繰入額	557	530	賞与引当金繰入額	557	530
退職給付費用	613	729	退職給付費用	613	729
減価償却費	445	423	減価償却費	445	423
その他	6,294	6,181	その他	6,294	6,181
営業利益	3,588	3,667	営業利益	3,588	3,667
営業外収益	365	329	営業外収益	365	329
受取利息	92	75	受取利息	92	75
受取配当金	104	89	受取配当金	104	89
不動産賃貸料	97	102	不動産賃貸料	97	102
その他	71	62	その他	71	62
営業外費用	532	616	営業外費用	532	616
支払利息	416	372	支払利息	416	372
社債	105	171	社債	105	171
貸倒引当金繰入額	-	49	貸倒引当金繰入額	-	49
その他	10	23	その他	10	23
経常利益	3,422	3,381	経常利益	3,422	3,381
特別利益	1,161	126	特別利益	1,161	126
固定資産売却益	61	29	固定資産売却益	61	29
投資有価証券売却益	284	-	投資有価証券売却益	284	-
貸倒引当金戻入額	674	9	貸倒引当金戻入額	674	9
債務保証損失引当金戻入額	94	29	債務保証損失引当金戻入額	94	29
損害賠償金	-	39	損害賠償金	-	39
受取保険金	46	13	受取保険金	46	13
その他	1	6	その他	1	6
特別損失	1,401	166	特別損失	1,401	166
固定資産除却損	269	32	固定資産除却損	269	32
減損損失	-	60	減損損失	-	60
投資有価証券評価損	-	6	投資有価証券評価損	-	6
出資金評価損	-	11	出資金評価損	-	11
貸倒引当金繰入額	0	-	貸倒引当金繰入額	0	-
役員退職慰労引当金繰入額	1,107	-	役員退職慰労引当金繰入額	1,107	-
建物等解体費用	-	39	建物等解体費用	-	39
その他	23	14	その他	23	14
税引前当期純利益	3,182	3,340	税引前当期純利益	3,182	3,340
法人税、住民税及び事業税	1,566	872	法人税、住民税及び事業税	1,566	872
法人税等調整額	△305	572	法人税等調整額	△305	572
当期純利益	1,921	1,895	当期純利益	1,921	1,895
前期繰越利益	-	434	前期繰越利益	-	434
土地再評価差額金取崩額	-	26	土地再評価差額金取崩額	-	26
中間配当額	-	174	中間配当額	-	174
当期末処分利益	-	2,182	当期末処分利益	-	2,182

## ■株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

	株主資本											自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金					利益剰余金 合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金							
						退職給与積立金	厚生施設積立金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
平成18年3月31日 残高	1,744	5,343	0	5,343	436	1,033	700	206	10,668	2,182	15,226	△28	22,285
事業年度中の変動額						74				△74	-	-	-
退職給与積立金の積立て(注)						△1,107				1,107	-	-	-
退職給与積立金の取崩し										8	-	-	-
固定資産圧縮積立金の取崩し(注)								△8		8	-	-	-
固定資産圧縮積立金の取崩し								△8		8	-	-	-
別途積立金の積立て(注)							1,450			△1,450	-	-	-
剰余金の配当(注)										△174	△174	-	△174
剰余金の配当										△174	△174	-	△174
役員賞与(注)										△64	△64	-	△64
当期純利益										1,921	1,921	-	1,921
自己株式の取得												△4	△4
自己株式の処分			0	0								0	0
土地再評価差額金取崩額											11		11
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)													
事業年度中の変動額合計	-	-	0	0	-	△1,033	-	△16	1,450	1,120	1,520	△3	1,516
平成19年3月31日 残高	1,744	5,343	0	5,343	436	-	700	189	12,118	3,303	16,746	△32	23,801

(単位:百万円)

	評価・換算差額等			純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等 合計	
平成18年3月31日 残高	4,354	△3,965	389	22,674
事業年度中の変動額				
退職給与積立金の積立て(注)				-
退職給与積立金の取崩し				-
固定資産圧縮積立金の取崩し(注)				-
固定資産圧縮積立金の取崩し				-
別途積立金の積立て(注)				-
剰余金の配当(注)				△174
剰余金の配当				△174
役員賞与(注)				△64
当期純利益				1,921
自己株式の取得				△4
自己株式の処分				0
土地再評価差額金取崩額				11
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)				
事業年度中の変動額合計	△1,530	△11	△1,542	△1,542
平成19年3月31日 残高	2,823	△3,976	△1,152	22,648

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

※財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■貸借対照表

科 目	(単位：百万円)		科 目	(単位：百万円)	
	当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
<b>[資産の部]</b>			<b>[負債の部]</b>		
流動資産	52,848	49,249	流動負債	49,417	51,220
現金及び預金	15,198	13,491	支払手形及び買掛金	11,308	11,932
受取手形及び売掛金	23,189	21,709	短期借入金	25,140	20,562
有価証券	29	104	一年以内に償還する社債	-	6,000
たな卸資産	7,169	7,342	未払金	8,421	8,581
繰延税金資産	1,586	1,774	未払法人税等	1,316	155
短期貸付金	6,241	6,000	繰延税金負債	15	19
その他	986	1,015	賞与引当金	1,131	1,102
貸倒引当金	△1,552	△2,189	その他の	2,082	2,866
<b>固定資産</b>	<b>43,211</b>	<b>47,487</b>	<b>固定負債</b>	<b>22,565</b>	<b>21,783</b>
有形固定資産	27,849	29,277	社債	4,000	4,000
建物及び構築物	9,704	10,617	長期借入金	10,184	10,025
機械装置及び運搬具	6,137	6,622	繰延税金負債	2	727
工具器具及び備品	1,439	1,382	再評価に係る繰延税金負債	1,590	1,598
土地	10,357	10,561	退職給付引当金	5,606	5,272
建設仮勘定	210	92	役員退職慰労引当金	1,107	-
無形固定資産	1,055	1,287	債務保証損失引当金	38	124
連結調整勘定	-	42	その他	36	35
のれん	39	-	<b>負債合計</b>	<b>71,982</b>	<b>73,004</b>
その他	1,016	1,245	<b>[少数株主持分]</b>		
投資その他の資産	14,305	16,922	少数株主持分	-	39
投資有価証券	9,984	12,669	<b>[資本の部]</b>		
長期貸付金	1,704	2,675	資本金	-	1,744
繰延税金資産	927	362	資本剰余金	-	5,343
その他	2,064	2,014	利益剰余金	-	16,155
貸倒引当金	△374	△799	土地再評価差額金	-	△3,965
<b>資産合計</b>	<b>96,059</b>	<b>96,736</b>	その他有価証券評価差額金	-	4,443
			為替換算調整勘定	-	1
			自己株式	-	△28
			<b>資本合計</b>	<b>-</b>	<b>23,692</b>
			負債、少数株主持分及び資本合計	-	96,736
			<b>[純資産の部]</b>		
			株主資本	25,113	-
			資本金	1,744	-
			資本剰余金	5,343	-
			利益剰余金	18,058	-
			自己株式	△32	-
			評価・換算差額等	△1,079	-
			その他有価証券評価差額金	2,896	-
			土地再評価差額金	△3,976	-
			為替換算調整勘定	0	-
			少数株主持分	43	-
			<b>純資産合計</b>	<b>24,077</b>	<b>-</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>96,059</b>	<b>-</b>

## ■損益計算書

科 目	(単位：百万円)		科 目	(単位：百万円)	
	当連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)		当連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	115,754	114,375	売上高	115,754	114,375
売上原価	63,298	61,646	売上原価	63,298	61,646
売上総利益	52,456	52,729	売上総利益	52,456	52,729
販売費及び一般管理費	48,063	48,331	販売費及び一般管理費	48,063	48,331
販売促進費	28,555	28,297	販売促進費	28,555	28,297
広告宣伝費	3,704	4,192	広告宣伝費	3,704	4,192
貸倒引当金繰入額	-	4	貸倒引当金繰入額	-	4
給料手当	4,068	4,110	給料手当	4,068	4,110
賞与引当金繰入額	566	532	賞与引当金繰入額	566	532
退職給付費用	631	748	退職給付費用	631	748
減価償却費用	530	527	減価償却費用	530	527
その他	10,005	9,916	その他	10,005	9,916
<b>営業利益</b>	<b>4,393</b>	<b>4,398</b>	<b>営業利益</b>	<b>4,393</b>	<b>4,398</b>
<b>営業外収益</b>	<b>370</b>	<b>370</b>	<b>営業外収益</b>	<b>370</b>	<b>370</b>
受取利息	78	66	受取利息	78	66
受取配当金	106	91	受取配当金	106	91
不動産賃貸料	87	116	不動産賃貸料	87	116
その他	98	95	その他	98	95
<b>営業外費用</b>	<b>709</b>	<b>832</b>	<b>営業外費用</b>	<b>709</b>	<b>832</b>
支払利息	679	709	支払利息	679	709
貸倒引当金繰入額	-	47	貸倒引当金繰入額	-	47
その他	29	74	その他	29	74
<b>経常利益</b>	<b>4,054</b>	<b>3,935</b>	<b>経常利益</b>	<b>4,054</b>	<b>3,935</b>
<b>特別利益</b>	<b>1,565</b>	<b>148</b>	<b>特別利益</b>	<b>1,565</b>	<b>148</b>
固定資産売却益	74	54	固定資産売却益	74	54
投資有価証券売却益	284	-	投資有価証券売却益	284	-
貸倒引当金戻入額	1,051	35	貸倒引当金戻入額	1,051	35
債務保証損失引当金戻入額	86	-	債務保証損失引当金戻入額	86	-
損害賠償金	-	39	損害賠償金	-	39
その他	68	19	その他	68	19
<b>特別損失</b>	<b>1,560</b>	<b>322</b>	<b>特別損失</b>	<b>1,560</b>	<b>322</b>
固定資産除却損	336	67	固定資産除却損	336	67
減損損失	-	62	減損損失	-	62
投資有価証券評価損	-	6	投資有価証券評価損	-	6
出資金評価損	0	11	出資金評価損	0	11
貸倒引当金繰入額	-	9	貸倒引当金繰入額	-	9
役員退職金	30	64	役員退職金	30	64
役員退職慰労引当金繰入額	1,107	-	役員退職慰労引当金繰入額	1,107	-
建物等解体費用	-	39	建物等解体費用	-	39
その他	85	59	その他	85	59
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>4,060</b>	<b>3,762</b>	<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>4,060</b>	<b>3,762</b>
法人税、住民税及び事業税	1,787	1,015	法人税、住民税及び事業税	1,787	1,015
法人税等調整額	△37	594	法人税等調整額	△37	594
<b>少数株主利益</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>少数株主利益</b>	<b>3</b>	<b>5</b>
<b>当期純利益</b>	<b>2,306</b>	<b>2,147</b>	<b>当期純利益</b>	<b>2,306</b>	<b>2,147</b>

## ■株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	土再評価額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日 残高	1,744	5,343	16,155	△28	23,214	4,443	△3,965	1	478	39	23,732
連結会計年度中の変動額											
利益処分による利益配当			△174		△174						△174
剰余金の配当			△174		△174						△174
利益処分による役員賞与			△65		△65						△65
当期純利益			2,306		2,306						2,306
自己株式の取得				△4	△4						△4
自己株式の処分		0		0	0						0
土地再評価差額金取崩額			11		11						11
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					-	△1,547	△11	△0	△1,558	3	△1,554
連結会計年度中の変動額合計	-	0	1,903	△3	1,899	△1,547	△11	△0	△1,558	3	344
平成19年3月31日 残高	1,744	5,343	18,058	△32	25,113	2,896	△3,976	0	△1,079	43	24,077

## ■キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科 目	(単位：百万円)	
	当連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,654	6,467
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,307	△3,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,615	△281
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	8
現金及び現金同等物の増減	1,730	3,149
現金及び現金同等物の高	13,879	10,729
現金及び現金同等物の高	15,610	13,879

※財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■会社概要 (平成19年3月31日現在)

- ・商号 エスビー食品株式会社
- ・本社所在地 東京都中央区日本橋兜町18番6号
- ・本社事務所所在地 東京都板橋区宮本町38番8号
- ・設立年月日 昭和15年4月5日(創業大正12年)
- ・資本金 1,744百万円
- ・従業員数 1,116名
- ・主要な事業内容 香辛料(カレー粉、コショウ、洋風スパイスなど)、即席(ゴールデンカレー、ディナーカレー、とろけるカレー、とろけるシチューなど)、香辛調味料(本生生わさび、おろし生しょうが、ねりからしなど)、インスタント食品その他(おでんの素、レトルトカレー、パスタソース、無菌包装米飯など)の製造販売

## ■株式の状況 (平成19年3月31日現在)

- ・発行可能株式総数 88,000,000株
- ・発行済株式の総数 34,885,585株
- ・単元株式数 500株
- ・株主数 4,101名
- ・大株主

株主名	持株数	出資比率
峯栄興業株式会社	3,045千株	8.73%
山崎兄弟会	3,000	8.60
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,720	4.93
農林中央金庫	1,720	4.93
株式会社東京都民銀行	1,222	3.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,000	2.87
日本生命保険相互会社	904	2.59
セコム損害保険株式会社	881	2.53
大日本印刷株式会社	661	1.90
第一生命保険相互会社	622	1.78

## ■役員 (平成19年6月28日現在)

- |           |        |         |       |
|-----------|--------|---------|-------|
| 代表取締役会長   | 山崎 勝   | 監査役(常勤) | 中山 俊明 |
| 代表取締役社長   | 江戸 龍太郎 | 監査役(常勤) | 小池 宗夫 |
| 取締役副社長    | 佐藤 幸雄  | 監査役     | 松延 洋平 |
| 取締役副社長    | 海野 祐造  | 監査役     | 谷 修   |
| 取締役専務執行役員 | 岡安 久治  |         |       |
| 取締役常務執行役員 | 荻原 敏明  | 執行役員    | 矢野 邦宏 |
| 取締役常務執行役員 | 佐藤 哲也  | 執行役員    | 中野 史夫 |
| 取締役常務執行役員 | 前澤 孝一  | 執行役員    | 山崎 雅也 |
| 取締役常務執行役員 | 山崎 明裕  | 執行役員    | 宮寺 良則 |
| 取締役常務執行役員 | 黒田 恒夫  |         |       |

## ■主な事業所 (平成19年6月28日現在)

名称	所在地	名称	所在地
本社	東京都	中部BU	愛知県
エスビースパイスセンター(本社事務所)	東京都	北陸BU	石川県
北海道BU	北海道	関西第1BU	大阪府
東北第1BU	岩手県	関西第2BU	大阪府
東北第2BU	宮城県	四国BU	香川県
関東第1BU	埼玉県	中国BU	広島県
関東第2BU	千葉県	九州第1BU	福岡県
関東第3BU	東京都	九州第2BU	福岡県
関東第4BU	東京都	九州第3BU	鹿児島県
関東第5BU	神奈川県	沖縄縄BU	沖縄県
新潟潟BU	新潟県	上田工場	長野県
長野野BU	長野県	東松山工場	埼玉県
静岡岡BU	静岡県	宮城工場	宮城県

(注)上記表中「BU」はビジネスユニットを省略記載したものです。

## スパイスとハーブはS&B

### 配当金振込制度について

当社の配当金は、郵便振替支払通知書を郵便局にご持参いただく方法のほか、ご指定の銀行口座へのお振込による方法もご利用いただけます。

また、この度、郵便貯金口座（通常貯金口座）へのお振込みによる方法もご利用可能となりました。

配当金受領方法の変更をご希望される場合は、下記の株主名簿管理人にお申し出ください。

### 単元未満株式の買増制度について

1単元（500株）に満たない株式を所有されている株主様は、1単元に不足する数の株式を当社に買増請求することができます。

1単元の株式をお持ちいただくと、株主総会で議決権行使が可能となり、また、株主優待制度が受けられます。

お手続きなどの詳細は、下記の株主名簿管理人にご照会ください。また、保管振替制度をご利用の場合は、お取引の証券会社にご照会ください。

### 株主メモ

事業年度  
定時株主総会  
株主確定基準日  
株主名簿管理人  
同事務取扱場所

（郵便物送付先）  
（お問合せ先）

同取次所  
公告掲載新聞  
株主優待制度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

6月中

定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

日本証券代行株式会社

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号

日本証券代行株式会社 代理人部

（住所変更等用紙のご請求）フリーダイヤル 0120-707-842

（その他のご照会）フリーダイヤル 0120-707-843

（ホームページアドレス）<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

日本証券代行株式会社 各支店

東京都において発行する日本経済新聞

有